

令和2年度第2回学校運営協議会が行われました

寒冷の候、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、兼六小学校では、第2回目、今年度最後の学校運営協議会を1月25日に実施しました。今年度はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から1学期の開催は見送りとなり、年2回の開催となりました。

第2回の会合では、今年度の学校運営の状況を学校より説明させて頂きました。その後、学校からの運営状況を受けて、委員の皆様からご質問、ご意見を伺いました。



学校評価より

- ・約2ヶ月の学校休業はあったが、計画的に授業を進めることによって進度に遅れなく取り組んでいる状況である。各学年で学習すべき内容はきちんと終了する予定である。
- ・前回の運営協議会でアドバイス頂いたことをもとに、班で広いスペースを取って話し合ったり、場所を工夫したりして話し合ったりすることで話し合いを深めることができるようになってきた。
- ・あいさつに重点を置いた取組により、あいさつする子が多くなるとともに、元気なあいさつも増えてきた。
- ・睡眠時間やメディアと触れる時間については各家庭でかなり状況は違っている。ノーメディアデーなどを取り入れることも考えている。
- ・保健室への来室は、休校あけの6月や夏休みあけが多かった。子供たちもストレスを感じていた部分が多かったと思える。

運営協議会委員の皆様より

- ・ゲーム等を子供たちはなかなかやめられない。子供たちに持たせる時には、しっかり設定することをして欲しいがなかなかできない。



・充分遊べない中でメディアのことを言い過ぎるとこれもストレスのもとになる。子供のガス抜きの時間を作ってあげればいいのか。こういう機会を生かして親子の会話等を増やしていればいいのか。

・保護者アンケートの⑨から⑳の項目は学校のしつけではなく家庭の話、保護者の問題。学校評価ももう少し広い視野で見られればいい。

・昔は子供の興味の対象が本等だったが今はYouTube などとなっている。好奇心は大切だがライン引きは必要。保育園の子供もメディアづけになっていて落ち着いて座ってられない。

・あいさつは良くなった。雪の多い日は心配、学校からも一人見に来てくれば。

・テレワークが増え、子供の面倒が見にくい状況がある。雪の多いときの通学路は、車道が優先され、歩道は後回しになっているので、子供たちが危険。

・新入生（中学）が例年に比べてメディアにつかる期間が長い。休校期間中にメディアにつながり抜けられない。中間、期末テストの前はNOメディア週間があるので、少しずつこのような事を習慣づけたい。

・中学校と小学校で合わせて、学習時間、期間をそろえていくことも考えられる。



メディア機器に触れることについては、学校からも情報発信をしつつ、いい方向に向かっていきたい。

来年度に向け、感染症対策をしつつ、様々な活動を充実していきたいと考えている。

地域の皆様へ

今年度は、残念ながら地域の皆様と関わる学習が少なくなりました。しかしコロナウイルス感染症が治まり、また地域の皆様と関わる学習ができる日が必ず来ます。兼六小学校の子供たちを今後とも温かく見守って下さるようお願い致します。

